

内閣府大臣補佐官 福田峰之様：

ご紹介預かりました、内閣府大臣補佐官、マイナンバー担当の補佐官 福田峰之です。まず会場のみなさんよろしくお願ひします。

そしてインターネットをご覧のみなさん、ぜひじっくり聞いていただきたいと思ひます。



今日私がお話をさせていただくのはマイナンバーの世界観ですね。

いろいろな新聞とかテレビとか雑誌だとかいろんなところに出てるのは、ある局部局部の話は結構でてるんです。心配だとか便利だとかですね。だけど今ぜひ私が皆さんに知ってほしいのは、その技術的なこととかテクニカルのことではなくて、どんな世界が待ってるんだっていう世界観を今日はお話をさせていただきたいなと思ってます。今日はあの、お手元に配っている資料およびネットで見られてる方は、ネットで見られてる資料はマイナンバー制度の利活用の推進のロードマップといわれているものです。

タイトルの右の上のほうに自民党のIT戦略特命委員会マイナンバー利活用小委員会ということになってると思ひますが、これは私は自民党のIT戦略特命委員会のマイナンバーの利活用の小委員長というのも兼務してまして、これは実は与党自民党として作ったペーパーなんですが、これが現実的に政府の方針にほぼほぼ一致したものになっています。で、これが俗に言うロードマップといわれているものなんです。

どんな世界観をつくるかといひますと、まずいろいろな方々が年金だとか政府がいろいろなデータを持っているんですが、誰のものかわからなくなってしまうということのを避けたいと思ひています。

年金記録問題ってみなさん記憶に新しいと思ひますが1億2千万人もいひますと、同姓同名の人っていっぱいいるんです。どうしても生年月日も同じ方がいらっしやるんです。

そうするとこのデータが誰のかわからないってことが実際起こりましたし、これからも起こりかねないのでそういうことがないように、これがまずマイナンバーを導入する一番大きな意味です。

つまり私が私であることの証明をしなければいけなひ。同じ福田峰之さんも5人いたら、どの福田峰之さんかがわからないという事態にならないようにするには、これはやはりルールを決めなければならなひ。これが番号です。

だけど薄気味悪いとか気持ち悪いという人がいる。

実際問題、気持ち悪い理由なんかない。なんとなく薄気味悪い、気持ち悪いという人がいます。私のうちの母に言ったらそういわれました。じゃあなんか方法論がないのか、「あんた、マイナンバーの担当補佐官なんだろう。違う方法はないのか」と聞かれたんです。

考えて一個だけありました。これは同姓同名禁止法。1億2千万人の方が全部違う名前だったら(ミスが)ないですよ。だけど出生届け出すときにせっかくうちの娘の例えばまりかといいます、が、「福田まりか、(すでに)います」といわれ次考えましょうと。

次女はるりかですが「福田るりか、(すでに)います」といわれたら…(大変です)。たいがい人が思いつく名前なんているんです。変な名前じゃない限り。そうするとほとんど登録できません。するととんでもない名前になっちゃうわけ。それは良くないです。

やっぱり自分のつけたい名前をつけたい。でもそれでクリアしてもなおかつ厄介なのは結婚して姓が変わると同姓同名になってしまう。今まで違ってたのに結婚した瞬間に同姓同名になってしまう。すると結婚して同姓同名になると名前変えろとなるわけですから、そんなことできるわけないわけで、だったら恐縮だけちょっと番号つけさせてもらいませんか、同じ福田峰之さんでも違う番号の福田峰之さんであれば区別できますよねってことをまずやりたいんです。そのためにこのマイナンバー制度を導入させていただきました。

これは後ろ側のバックヤードの問題なんで、あんまりはっきり言ってみなさんには関係ないし、生活してる上には関係ない。

私たちが一番これ使うって普通の生活してる人たち、例えば今日みなさんのような普通に生活してる人たちにとってたぶん一番利活用とか考えなきゃいけないのは、マイナンバーカードなんですね。

実はマイナンバーっていう利活用と、マイナンバーカードっていうのの利活用と、マイナポータルっていう利活用と、実はこれは3つわけて考えなきゃいけないんですが、わけわからない人の話を聞くとごちゃごちゃになっちゃって話し聞いたらさらにわかんなくなっちゃったっていうのがよくありがちな話なんです。

マイナンバーそのもの、12桁の数字がつきますが、その利活用ってきわめて限定的です。税金と社会保障と災害と3つしか使えない。これは法律で決まってるから、他のことに使わしてくれって言ったってこれは法律を変えないとできない。これははっきり言って普通の生活している人にはほとんど関係ない。会社やってるとかそういう人には関係あるかもしれないけど生活者には関係ない。

マイナンバーが振られたマイナンバーカードってというのが来年の1月以降なんとタダで配ろうとおもうんです。前に似たようなカードがありましたね。住民基本台帳カード。ほとんど使い物にならない、あんまり便利じゃない、なおかつ500円もとっちゃったっていう…(1000円?)。だから結局国民の5%の方しかお持ちいただきけなかったんです。

こうした反省もありますから、今回のマイナンバーカードはまず国民のみなさんに無償で提供しようということにしました。

10月になりますとみなさんの家にあなた番号何番ですよってというカードがきて、そこにマイナンバーカードの申込書が入ってまして写真貼って送ってもらうと1月以降みなさんにお渡しします。これ恐縮ですがもらうときはお住まいになってる区役所とか行ってもらって、写真がついてるから、その本人なのかどうかってことを確認してもらってもらうってことです。じゃないとなりすましが起きてしまう。

例えば、福田峰之さんってなりすまして他のだれか違う人が作っちゃったりとかできないように本人確認をしてもらってください。

そっからがいい。マイナンバーカードができました。これ便利ですよ。まず何が便利か、一番便利なのがこのマイナンバーカードは写真が入って、住所が入って、生年月日が入って、そして性別が入ってますから、これ証明書になります。身分証明書になる。

最近ですね、世の中が、ある一定の年齢になったら免許証返そう運動ってありますよね。たぶんもう返された方もいらっしゃるかもしれない。返そう運動って返しちゃったら、例えば銀行行って口座作る、携帯電話契約する、身分証明書見してくれって言われたときにみなさん何使ってます？普段。健康保険証は写真がないんですね。

だからパスポートと2つ持って行けばいいですけど面倒くさいですね。これですね、大概の場合は運転免許証持っている人は話聞くとほとんど運転免許証使ってるんです。なぜならば写真があって住所があって、一番身分証明書に今までなってたから。だけどこれ返しちゃった、あるいは最近若い人たち車乗らないから免許持っていない。これは困っちゃうんですね。

だけどこのマイナンバーカードが今度あると、これが国家が認めた、つまり身分証明書になりますから、それはリアルな世界で「はい」ってみせると、写真もあるし、あなたが福田峰之さんですねって確認をしていただける、まさに身分証明書になります。

だけどそれだけだったら全然おもしろくない。このマイナンバーカードはICチップっていうものが入ってるんです。今日特別にお見せしましょうか。5日にならないと番号振られないんですね。だけどこれは本物です。

サンプルって書いてますけどこれ本物で、これに名前や何かかが書かれて、そしてみなさんに配られるもので本物です。ただ何も登録されてませんよ。名前とか書いてませんけど。これ表側で、これが裏側です。裏側に12桁のマイナンバーが書いてあって、ICチップが入ってます。で、表側は写真・住所・名前・生年月日・男女が入ってます。

これがマイナンバーカード。これがリアルタイムで証明書になります。で、このICチップが入っているので、これをパソコンとか携帯電話に読み込ませてリーダーってのがあって、ガチャってはめて読み込ませるんですがそれで読み込ませると、暗証番号4桁なんですけど、そうするとこのICチップが読み込まれてインターネットの世界でも、私が私であることの証明ができるっていうのが特徴です。

インターネットの世界で私が私であることが証明されるって実はすごく大切なことで、相手側にしてみると、例えば facebook とかいろんな(SNS)ありますけど、そこに住所登録したり名前登録したりとかあだ名登録したりしますけど、本当にその人がその名前かなんてだれもわからないじゃないですか。

偽名だってできる。だけどこれはこの中に住所とか全部入ってますから政府が保証してるわけです。これで名前がつながったときは全部本物だってことなんです。私が私であることをインターネットの世界で証明できるものが実はこのマイナンバーカードになって、これは便利です。

だから、引っ越しをしたり、あるいは行政の様々な書類をもらったりそんなことしなくても、このカードで行政のいわゆる書類をもらわなくても、あるいは出さなくても様々なサービスを提供できるっていう形にしたいと思ってまして、そういう意味では私が私であることは非常に重要だってことです。

じゃあそんなことやってどんなことができるんだろうかって話になります。僕が一番これができたら使いたいなって思ってるのは、別に悪いことするわけではないんですけど、僕銀行口座とかかけっこう作ったりします。色々分けてる訳です。

政治献金用の口座とか個人の口座とか。だけど昼間に来いっていうでしょ。つまり3時までの間に来てねって平日の。私普段東京で働いてるわけですよ。僕の地元は横浜市緑区青葉区です。だけど銀行口座は正直地元で作りたい。でも平日は国会にいます。

じゃあどうすればいいですかと。国会さぼって行けって言うなら行けますけど。だけど今度マイナンバーカードがあると、ATM だとかあるいはセブンイレブンの ATM—セブンイレブンの色んなもののお金をやり取りするところ、あるいは銀行の ATM とか。例えばああいうところでこの IC チップで読み込ませて、そして銀行口座とかもできるようになっちゃうんです。

銀行がなぜ現場に来てほしいって言ってるかといいますと、本人確認をしたいんです。本当にあなたが福田峰之さんなんですか？ってことを確認したいんです。じゃないと、マネーロンダリングの口座に使われちゃったりするから。本人を確認したい。そのためには本人がいて免許証の写真と本人が一緒なのかを確認をしてそして口座をつくるんですね。

だけどインターネットの世界の中で本人であることが確認されてるんであれば、何も現場に行かなくていい。そうすると、セブンイレブンの ATM で新しい銀行口座ができるようになります。じゃあ判子はどうするの(というと)、判子は法律じゃありません。

銀行が顔だけじゃなくて同じ判子を持っているっていう認証をさらに高めるにあります。顔と判子という2つの認証で高めてるだけです。それはなぜかっていうと、もしかしたら似てる顔の人が来たらどうしようという状況、兄弟がきたら、判子がなくても渡さなければならない。

わからない。だから判子です。だけどマイナンバーカードって国家が保障してる認証ですから判子も今度いらないんです。

はっきり言って。判子以上に私が私であることを国家が証明しているわけです。だから判子なんていらないっていう世界です。そういうふうになるとわざわざこれから銀行口座作ったとか、あるいは引っ越しをするために役所に行って書類をもらうだとか、そういうことがいらない世界

になっていくんです。

これは私は高齢化社会になってってなかなかこれは交通が発達してるからいいと思いますよ、東京とか横浜はね。だけど本当に地方のほういくとバスが一日一本しか来てないとか、あるいは来るならいいけど過疎地なんてバスがなくなっちゃったとか、じゃあだけど銀行いかなきゃいけない、役所に行ってなにか所得証明とって来なきゃいけない、住民票取って来なきゃいけない、戸籍取って来なきゃいけないって、都会に住んでる人ってはっきり言ってその大変さはわかんないよね。

だけど本当に地方に行くと大変なんですよこういうことが。そういうことを例えば家でできるようになったりとか、私はそれは本当に便利な社会になっていくと思っています。

次はじゃあマイナンバーカードってそうやって公のことだけにしか使えないんだったら、はっきり言って引越したって一生涯に何回もするわけではないし、私引越し2回しかしたことないし、引越しのときに便利ですよって言ったってだれも使ってくれません。

どんだけ民間の企業サービスに使えるか。今まさに銀行口座ができるってのもそうでしょう。このマイナンバーカードの特徴は例えば私のお財布は今何が入ってるかといいますと、これクレジットカード兼キャッシュカード。これ私の健康保険証。これ電車乗るときのPASMO。次運転免許証。次国会議員の身分証明書。

次これ国会議員の定期券、電車のね。以上6、マイナンバーカード入れたら7枚。この7枚、お財布に入っていました。だけどこんな7枚もいらんんじゃないの。で、このマイナンバーカード1枚にワンカード化できるんじゃないのっていうようになります。できるようにします。つまり、クレジットカードやキャッシュカード、あるいは健康保険証、あるいは運転免許証とか会社の身分証明書だとか。あるいは地方自治体の図書館で借りるための図書カードとか印鑑証明だとか。地方自治体は出してるカード、民間が出してるカード、あるいはTポイントとかもそうかもしれません。

そういうものをこのICチップの中に入れて込んでワンカード化できるようにと思ってます。そうするとこれ一枚持ってくとなんでもできちゃうからやっぱり便利だよ。こんなお財布に色々な持ってかなくてもいいよね、っていうことになるんだと思います。

ちなみに私の家内はお財布の中にカード23枚入っていました。

お財布になんて言ったかというと

「お前ちょっと太りすぎじゃないの？」

「何私全然結婚した時と体型変わってないじゃないの」

確かにうちのカミさんはかわってない。

「違うよ俺が言ってるのは財布の話だよ、太りすぎだ」こんな厚くなってるわけですよ。二十何枚も入ってるから。そういうことはなくしていきませんか、っていうこともできます。

だけどこれいと必ず言われます。落としたらどうするのと。大変なことになってしまうのではないですかと。

一枚にしたら全部なくなっちゃうんじゃないかと。確かに全部なくなります。調べてみました、色んな人に聞いてみました。財布の中のカードの1枚を落っことすって実はあんまりないんです。

だいたい財布を落とした、財布を忘れた…結局財布落としたら6枚7枚入ったカード全部落としてると同じなんですね。ですからそれはマイナンバーカード1枚にしたからってことじゃなくて、同じでしょ？財布を落としちゃったら同じなんです。

ですから、そこは問題ないと思います。じゃあ1枚にする利便性はなんだろうか。例えば23枚あったら下手したら23か所に電話しなきゃいけない、落っことして再発行してくれと、止めてくれとか。大変ですね。

だけどマイナンバーカード1枚にしていたとすれば、将来マイナンバーを落とすとここに電話してくださいってところがあるんですけど、そこに一か所連絡すればそこからいろんなカードつくったカードのところに自動的に落としました、止めてくださいって連絡をそこからやってもらうことができれば20か所電話しなくていいんです。

そんなこともできるようにしたいと思ってます。またなりますから。そういうふうにしめようと思ってます。

じゃあもう一個、これも言われます。

マイナンバー書いてあるでしょ、ICチップに入ってることはわかんないかもしれないけど番号12桁書いてあるじゃないか、これ落っことしたら情報が芋づる式に取られてしまうんじゃないのって、だから落っことしたらそれはそれで大変でしょって言われました。

マイナンバー、12桁の番号知られたら芋づる式に情報が取られてしまうからやだ、危険だ、怖い、多くの方がそういいます。

だけどこれって私からみると、誤解に基づいた理解だと思うな、誤解に基づいた…。なぜかっていうと私の番号が例えば1666444となったとします。

みなさんにお知らせして、いったいどうやって私の情報取るのかなと。取れないんですね。先ほど言いましたように情報のやり取りをするときには本人確認しなければいけませんから。パソコンにリーダーっていうのにガチャってやってですね、そしてあのパソコンに読み込ませて、4桁の暗証番号いれて情報のやり取りをするマイナポータルってところにたどり着きます。

マイナポータルっていうのは自分自身しかみれないホームページです。他の人が見れない、僕だけしか見れないホームページです。私のものであれば。そのページから情報のやり取りをし

ます。だからそこにたどり着かないと情報を取れないんですね。

じゃあ番号知ってたから行けるかっていうと、12桁の番号をいれて、だけではそこに行かない。じゃあ暗証番号知ってても行かない。カードそのものがないとそこにいけない。なおかつ暗証番号がないと入れない。

これは銀行のキャッシュカードと同じじゃないですか。私の口座はこのネットテレビをご覧になっている約8000万人の方々に私今から伝えますよ、メモしてくださいね。横浜銀行たまプラーザ支店の普通口座の02465356、これ私の銀行口座です。福田峰之です。

どうぞお金をおろしてください。盗んでください。できないですね。口座番号知ってるだけじゃできないんです。もしお金降ろそうとするとキャッシュカードと暗証番号が必要です。ピッていれて番号入れないと降ろせないですね。

マイナンバーカードも同じで、これ(マイナンバーカード)いれて暗証番号入れないと情報のやり取りができないっていう仕組みになっているんです。ですから、これが心配だっという人は銀行のキャッシュカード持つの止めたほうがいいと思いますね、僕は。

同じことだから。だからさっき言いましたように誤解に基づいて芋づる式に取られてしまうんじゃないかなって言うてる人がすごく多いなってというのが私の実感です。決してそんなことはありません。むやみに伝える必要はないけど、別に知れたからといってなんかそれでどうだってことはないですからね。

そこはあんまり意識しすぎないほうがいいんじゃないかなあと私は思います。

それでこのカードそんな風にやって使っていくとすごく便利になっていく。だけどこれずっと言うわけにいかないんです。

写真がついてるから。なので大人の方は10年たったら交換させてください、20歳以下の方は5年たったら交換させてください、っていう仕組みになります。

なぜかって言うとやっぱり10年経つと顔変わっちゃったりしますよね。たぶん10年経つともっと若くなってると思うんですけどね(笑)だからこれはそういうこともあるので、チェンジをね、パスポートもそうですが同じです。そういう形でチェンジをさせていただきたいなあとこの風に思ってます。

そしてこれはさっき言ったように12桁の番号なんですね。

で、ガチャってやってマイナポータルってところに入っていきます。それで情報のやり取りをします。ここの中に重要な機能が1つあります。

機能いっぱいつけようと思ってますが一番重要なのはいつだれが私のデータを見たかを記録が残るっていう仕組みがあるんです。例えば私の所得情報、さっき言った税金についてはマイナンバーつきますから、私の所得の情報、私がいくら所得を得たかっていうのはもちろん税務署、僕だと横浜にある緑税務署って言うんですが、そこは私のデータをみるでしょう。でないといくら所得税かけていいかわからないですしね。

それは関係してる役所の人が情報を見るのはいいんです。だけど例えば環境省の人が僕の所得情報見たら、これは違法行為です。

なぜか。関係ないから環境省には、私の所得情報が。つまりだれがいつ見たのかっていう履歴が全部残っちゃうんです。これはすごい話で一時年金記録問題でこの芸能人が年金払ってるとか払ってないとか、この政治家が払ってるとか払ってないのかってどっかから漏れてたでしょ。あれ中の職員が見てるに決まってるじゃないですか。

じゃないとわかんないんだけど。あれは紙で書いて、例えば机の上に私が年金払ってるかどうかという資料が机の上にあっただれが見たかなんてわからないじゃないですか。だけど今度はみたら履歴が残っちゃうんですね、これ。

すごい話で役人クビになりたい人は見ればいいと思うけどこれ見たらクビになりますよ、関係ない人は。ばれちゃうんです。ですから、そういう仕組みをしっかり導入して、ちょっと悲しい話だけど、これに関わってる役所の人だとか、年金機構は今役所じゃないけども役所に近い人だとかそういう人達を信頼してないわけじゃないけども、だけどやっぱり国民の皆さんは心配だから、そういう機能を入れてだれが見たかってはっきりさせようじゃないかっていうふうにしてるので、そういう意味でのセキュリティは今よりか上がってます。

勝手に見られないっていうセキュリティはあがってます。ということがやっぱりこのマイナポータルっていう自分だけしかみれないホームページの一番大きな特徴になります。そんなことをやりながら漏れてしまうんじゃないかっていう心配だったりとか、そういうものをできるだけ抑えていきたいという風に思ってます。もう一個だけ誤解されてる話があります。マイナンバーカードに色んな情報が入ってるんじゃないか。

入ってません。ここ中には。だいたいこの記憶装置があるって言ったってそんな量多くないですから。ここに情報が入ってるわけじゃない。

あるいはマイナンバー用のちょっと難しいけれどデータベースっていうマイナンバー専用のデータベースがあってそこに全部の記録をしてるわけではありません。

実はこれは年金は年金機構がデータを持っています。

税金は税務署がデータを持っています。あるいは労働関係のものはハローワークとかが持っています。って言う風にそれぞれ役所がデータを持っているので、それぞれの役所の関係のところで分散で持っているんですね。一か所で集めて持っているんじゃないです。

じゃあマイナンバーはどうやってそういうデータとアクセスするの。必要な時にこのマイナンバーカードのマイナンバー、これで必要なときに例えば私今年いくら税金払ったかなとかね。必要なときにマイナンバーを使ってそこから呼び出してるだけです。

だから普段は持っていないといったん見たら返しちゃうんだからマイナンバー用のデータベースっていうのは存在していません。

これを俗に分散管理って言い方してます。ですから一か所に集めとくと、そこにサイバー攻撃されて全部取られちゃう。まあそれあったら困るからセキュリティきっちりやりますよ。それぞれ分散してますからね。

たとえ年金機構がサイバー攻撃受けて情報取られないように徹底的にこれからやります、今これからやります。けどもしもそこで抜かれたとしてもですよ、他の税金の情報だとか、あるいはほかの関係の例えば労働の情報だとか医療の情報だとかっていうものは取れないんですね。

やるとおもったら10箇所のデータベースがあったら10か所全部やらないとできないっていう仕組みになっているんです。

ですからそういうセキュリティーの考え方もありますからぜひこれは安心していただいてマイナンバーっていうのを利活用していただきたいなあという風におもってます。

私の時間は以上ですが、ありがとうございました。
